

令和〇〇年 分所得税青色申告決算書(一般用)

申請内容記入時  
確認箇所

住所	東京都〇〇区〇〇	氏名	トウイツ タロウ 統一 太郎	依頼 税理士等
事業所	同上	電話	03-0000-0000 同上	
業種	屋号	加入団体		

令和〇〇年〇〇月〇〇日

損益計算書

(自 1月1日 至 12月31日)

17

科 目		金 額	科 目		金 額	科 目		金 額		
売上(収入)金額 (雑収入を含む)		1	1,000,000	消耗品費	17	0	貸倒引当金	34	0	
売上 原価	期首商品棚卸高	2	0	減価償却費	18	0		35		
	仕入金額	3	0	福利厚生費	19	0		36		
	小計	4	0	給料賃金	20	0		計	37	0
	期末商品棚卸高	5	0			0	各種引当金・準備金等	専従者給与	38	0
	差引原価	6	0			0		貸倒引当金	39	0
	差引金額	7	0			0			40	
								41		
								計	42	0
経費	租税公課	8	0		25		青色申告特別控除前の所得金額	43	550,000	
	荷造運賃	9	0		26		青色申告特別控除額	44	100,000	
	水道光熱費	10	0		27		所得金額			
	旅費交通費	11	0		28				45	450,000
	通信費	12	0		29					
	広告宣伝費	13	0		30					
	接待交際費	14	0		雑費	31	0			
	損害保険料	15	0		計	32	0			
	修繕費	16	0		差引金額	33	0			

申請書18番 製造・販売等実績の②直前年度分決算に記入する売上実績高になります。

貸借対照表がない場合、申請書19番 自己資本額の③次期繰越利益欠損金の欄に記入する金額です。

# 財務諸表(個人例)

## 貸借対照表

(資産負債調) 令和〇〇年  
現在)

## 製造原価の計算

(原価計算を行っていない人は、記入する必要はありません)

資産の部			負債・資本の部			科目		金額	
科目	月日(期首) 円	月日(期末) 円	科目	月日(期首) 円	月日(期末) 円			円	
現金			支払手形			この範囲が流動負債に該当しますので、 期末の合計金額を確認します。 これ以外の科目が追加されている場合は、 流動負債(決算から1年以内に支払い期限が到来する科目)であるかどうかを確認します。	期首原材料高	1	
当座預金			買掛金				原材料仕入高	2	
定期預金			借入金				小計(1+2)	3	
その他の預金			未払金				期末原材料棚卸高	4	
受取手形			前受金				差引原材料費(3-4)	5	
売掛金			預り金				労務費	6	
有価証券						申請内容記入時 確認箇所	外注工賃	7	
棚卸資産							電力費	8	
前払金							水道光熱費	9	
貸付金							修繕費	10	
建物							減価償却費	11	
建物付属設備							その他の製造経費	16	
機械装置			債権償却特別勘定			申請書19番 自己資本額の ①払込資本金には期末の「元入金」の金額記入を確認します。 ②準備金・積立金には、「事業主借-事業主貸」の金額記入を確認します。 ③自己資本額の繰越利益(欠損)金には、「青色申告特別控除前の所得金額」の金額記入を確認します。  個人事業主の自己資本額は (事業主借+元入金+青色申告特別控除前の所得金額)-事業主			
車両運搬具			貸倒引当金						
工具器具備品									
土地									
			事業主借			期末半製品・仕掛品棚卸高	25		
事業主貸			元入金			製品製造原価(24-25)	26		
			青色申告特別控除前の所得金額						
合計			合計						

この範囲が流動資産に該当しますので、  
 期末の合計金額を確認します。  
 ※土地以下の科目に記載がある場合、流動資産か固

この範囲が設備の額に該当します。  
 期末の合計金額を確認します

損益計算書の43番にある青色申告特別控除前の所得金額と同じ項目で

申請内容記入時  
 確認箇所

申請書19番 自己資本額の  
 ①払込資本金には期末の「元入金」の金額記入を確認します。  
 ②準備金・積立金には、「事業主借-事業主貸」の金額記入を確認します。  
 ③自己資本額の繰越利益(欠損)金には、「青色申告特別控除前の所得金額」の金額記入を確認します。  
  
 個人事業主の自己資本額は  
 (事業主借+元入金+青色申告特別控除前の所得金額)-事業主

